

(平成 22)2010 年度 事業報告

2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日

ウッドマイルズ研究会

1. 事業の実施概要および成果

I. 関連指標及びツールの開発事業

関連指標算出マニュアルは、Ver.2008-04 を運用中。以降の追加修正は行っていない。

II. 普及及びネットワークの形成事業

「木材に関する環境指標の普及および統合（地球環境基金助成事業 H20～22 年度）」活動を主軸に、地球環境時代に求められる木材調達基準をテーマとしたフォーラム（6 月：東京）、及び「環境+品質」という多面的な地域材認証基準づくりテーマとしたセミナー（9 月：京都）を開催したと共に、活動 3 年目の成果をまとめるべく、「木材調達チェックブック」検討作成委員会を 3 回開催し、「木材調達チェックブック（建築物に使用される木材製品：vol.01）」を取りまとめ、WEB 上に公開した。

ウッドマイルズ関連指標算出技術者を養成する算出講習会は、希望に応じて随時開催したと共に（計 8 回）、長期優良住宅先導事業に係るウッドマイルズ関連指標の算出（東京家づくり工務店の会：3 件）を行った。また、パンフレットの増刷及びホームページ更新管理、ニュースレター配信も継続して行った。さらに、鳥取県緑の産業再生プロジェクト（(協) レングス）におけるトレーサビリティシステム構築に関する事業を受託し、実態調査による木材の流通把握や環境貢献度の明示に寄与した。

III. 情報収集研究事業

森林総合研究所との新規共同研究「森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発－伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発」を行い、平成 22 年度は輸入木材製品輸送に伴う炭素排出量を明らかにした。また、昨年度までの共同研究「伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発」で得られた成果の一部についてカーボンフットプリントの商品別算定基準（木材・木質材料）に反映された。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者	支出額 (千円)
関連指標及びツールの開発	マニュアル・プログラムの維持管理	4/1 ～3/31	事務局	1 人	会員多数	0
普及及びネットワークの形成	ウッドマイルズフォーラム 2010 開催	6/19	新木場：木材会館	13 人	参加者 91 名	954
	ウッドマイルズセミナー 2010 開催	9/27	京都府職員福利厚生センター	10 人	参加者 63 名	372
	算出講習会 (合計 8 回)	4/21 ～3/10	島根、東京 3、岐阜 2、京都、静岡	2 人	認定取得者 43 名	199
	ホームページ更新管理	4/1 ～3/31	事務局	1 人	会員他多数	0
	ニュースレター配信 (32～38 号)	4/1 ～3/31	事務局	1 人	会員他多数	0
	パンフレット増刷	5/18 ～5/21	事務局	1 人	会員他多数	119
	関連指標算出	4/1 ～3/31	事務局	1 人	会員 4 社	15
	木材調達チェックブック検討作成	4/1 ～3/31	事務局	8 人	関係者多数	1,316
トレーサビリティシステム構築サポート	10/21 ～3/31	鳥取、事務局	5 人	関係者多数	462	
情報収集研究	伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発	8/4 ～3/22	事務局他	9 人	関係者多数	2,001

<各事業の概要>

■ウッドマイルズ研究会 2010 年度総会

日時／2010年6月19日（土）10：00～11：30

場所／木材会館6階 第1・第2会議室

（審議事項）

- 1) 2009年度事業報告及び収支決算について
- 2) 2010年度事業計画及び収支予算について
- 3) 役員を選任について 4) その他

正会員20名および表決委任者75名による総会は、藤原議長のもと全ての審議事項が承認された。

■ウッドマイルズフォーラム 2010 ～地球環境時代の今、どのような「木材調達基準」をつくるべきか

日時／2010年6月19日（土）13：30～17：30 場所／木材会館7階「檜のホール」

主催／ウッドマイルズ研究会 後援／林野庁、(社)日本林業経営者協会、(社)全国木材組合連合会、(社)日本建築士会連合会、(社)全国中小建築工事業団体連合会、(財)日本住宅・木材技術センター、(社)東京建築士会

【第1部】具体的な取組事例報告～木材調達「環境」基準づくりの現場から

(中澤健一氏、遠藤龍一氏、吉野亜文氏)

【第2部】パネルディスカッション～環境時代の今、どのような木材調達基準をつくるべきか

速水亨氏、榎本崇秀氏、藤原敬氏、藤本昌也氏、岡崎時春氏、熊崎実氏、+第1部報告者

これからの木材調達や利用に関する方針・基準が問われている今、自治体や事業者における木材調達基準づくりの現場からの報告を踏まえ、これらに対する専門家を交えたパネルディスカッションを通じて、どのような木材調達方針や基準をつくるべきかについて会場も交えて議論した。研究会関係者をはじめ、自治体・森林木材業・建築業・その他一般企業など、総勢91名が参加した。

■ウッドマイルズセミナー2010 ～環境、品質、多面的な地域材認証基準づくりを目指して

日時／2010年9月27日（月）13：00～17：00

場所／京都府職員福利厚生センター第1会議室

主催／ウッドマイルズ研究会 共催／京都府、NPO法人京都・森と住まい百年の会

後援／林野庁、(社)日本林業経営者協会、(社)全国木材組合連合会、(社)日本建築士会連合会、(社)全国中小建築工事業団体連合会、(財)日本住宅・木材技術センター、(社)京都府建築士会、京都府地球温暖化防止活動推進センター、京都府産木材認証制度運営協議会

【第1部】環境、品質、多面的な地域材認証基準づくりの取組事例報告

(藤原敬氏、滝口泰弘、柴田繁氏、淵上佑樹氏、榎本崇秀氏)

【第2部】取組事例報告を踏まえ、多面的な地域材認証基準のあり方を探る(意見交換会)

(古田裕三氏、池瀨雅和氏、鈴木千輝氏、白石秀知氏、+第1部報告者)

各自治体の地域材認証基準に焦点をあて、基準の領域拡大を目指す取組事例報告を踏まえ、多面的な地域材認証基準づくりについて会場も交えて議論した。各地の自治体担当者、林業・木材業関係者、建築設計者・工務店、その他関係者・学生など、地域の木に関する幅広い参加者、総勢63名が参加。

■ウッドマイルズ算出講習会

実施日	実施場所	主催者	認定者数
4/10	島根県松江市	島根県建築士会	9名
4/28	事務局（東京）	ウッドマイルズ研究会	1名
7/28	京都府京都市	京都府地球温暖化防止活動推進センター	3名
8/18	岐阜県美濃市	ウッドマイルズ研究会	4名
9/2	事務局（東京）	ウッドマイルズ研究会	2名
9/7	事務局（東京）	ウッドマイルズ研究会	2名
12/18	静岡県富士市	富士山木造住宅協会	20名
1/29	岐阜県多治見市	ウッドマイルズ研究会	2名
(合計)			43名

■関連指標算出

長期優良住宅先導モデル事業（平成20年度第2回）採択事業、「東京／森の木の家プロジェクト2（東京家づくり工務店の会）」に関する3物件のウッドマイルズ関連指標の算出を事務局にて実施した（各住宅とも構造材のみ）。

■「木材調達チェックブック」検討作成

多岐に渡る木材の環境指標及び品質項目を整理し、実態調査アンケートの結果やフォーラム・セミナー開催による意見収集を踏まえ、国産材・地域材需要拡大の核となる木造住宅設計者や工務店が、各地の実情に応じて自らの木材調達方針を積極的に作成できる、分かり易く、かつ多岐に渡る指標のバランスを保った、実務で使える「木材調達チェックブック」を作成するため、研究会関係者を中心とした検討委員（森林、木材、建築、一般、という各分野の7名）により、検討委員会を合計3回（8/3（月）、10/8（金）、1/20（木））実施し、「木材調達チェックブック（建築物に使用される木材製品：vol.01）」を完成させ、WEB上に公開した。

■トレーサビリティシステム構築サポート

平成22年度鳥取県緑の産業再生プロジェクト（鳥取県補助事業、事業主体：（協）レングス）の一環として、トレーサビリティシステム構築に関する業務を受託し、（協）レングスの製品（Jパネル）の原木流通実態調査、トレーサビリティシステム及び環境貢献度の明示に関する提案を行った。

■その他関連団体との連携

緑の循環認証会議 SGEC、日本木材輸出振興協議会の役員としてウッドマイルズ研究会代表運営委員藤原が加わり、運営に参加した。

■伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発

森林総合研究所との新規共同研究「森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発－伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発（趣旨：木材利用による削減量の中長期的にシミュレーション可能なモデルを開発する）」において、木材製品輸送に係る炭素排出量解析を担当し、平成22年度は輸入木材製品輸送に伴う炭素排出量を明らかにした。

また、昨年度までの林総合研究所との共同研究「伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発（H18～H21）」で得られた成果の一部について、2011年3月29日に認定、公表された、カーボンフットプリントの商品別算定基準（PA-CC-01：木材・木質材料）における付属書C（丸太及び未利用間伐材等の輸送シナリオ）に反映された。

2. 研究会の組織 (2011/7/16 現在)

算出技術者認定取得のための算出講習会を中心に、個人、法人ともに会員数が増加したが、退会者も見られ、結果として若干の増加となった。

種 別	2009 (H21) 年度	2010 (H22) 年度	備 考
顧問	19 名	18 名	1 名 減
技術委員	4 名	4 名	
正会員個人	127 名	132 名	5 名 増
正会員法人	37 社	43 社	6 社 増
賛助会員個人	27 名	23 名	4 名 減
賛助会員法人	0 社	0 社	
認定算出技術者	108 名	142 名	34 名 増
ニュースレター配信	381 名	460 名	79 名 増

(平成22) 2010年度事業会計収支決算書 (案)

2010年4月1日から2011年3月31日

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
I 収入の部			
1 会費・入金収入			
(1) 年会費			
・正会員個人 5,000円×79名=395,000	395,000		
・正会員法人 30,000円×29社=870,000	870,000		
・賛助会員個人 3,000円×9名=27,000	27,000		
・賛助会員法人 30,000×0=0	0		
		1,292,000	
2 事業収入			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの維持管理	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2010 (東京)	168,000		
・ウッドマイルズセミナー2010 (京都)	70,000		
・算出講習会 (静岡、岐阜、神奈川、北海道、新潟)	205,000		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・パンフレット2010、ウッドマイルズレポートサンプル2010発行	0		
・ウッドマイルズ関連指標算出及びレポート編集発行	15,000		
3) 「木材調達チェックブック」検討作成			
・検討委員会、アンケート調査、原稿作成	0		
4) 木材のトレーサビリティ構築サポート			
・Jパネルのトレーサビリティシステム構築委託業務 (鳥取県)	613,400		
(3) 情報収集研究事業			
・伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発 (森林総合研究所共同研究)	2,000,000		
		3,071,400	
3 補助金・助成金収入			
(1) 環境再生保全機構 (地球環境基金)			
・「木材に関する環境指標の普及および統合」活動助成金	1,864,000		
		1,864,000	
4 その他			
(1) 利息・雑収入	204		
		204	
当期収入合計 (A)		6,227,604	
前期繰越収支差額		1,955	
収入合計 (B)			6,229,559
II 支出の部			
1 事業費			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアル・プログラムの維持管理	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2010 (東京) (地球環境基金活動助成事業)	953,899		
・ウッドマイルズセミナー2010 (京都) (地球環境基金活動助成事業)	371,870		
・算出講習会 (鳥根、東京、岐阜、京都、静岡)	198,550		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・パンフレット2010、ウッドマイルズレポートサンプル2010発行	118,963		
・ウッドマイルズ関連指標算出及びレポート編集発行	15,000		
3) 「木材調達チェックブック」検討作成			
・検討委員会、アンケート調査、原稿作成 (地球環境基金活動助成事業)	1,316,398		
4) 木材のトレーサビリティ構築サポート			
・地域材のトレーサビリティシステム構築サポート (鳥取県)	462,400		
(3) 情報収集研究事業			
・伐採木材製品の炭素貯蔵シミュレーションモデルの開発 (森林総合研究所共同研究)	2,001,650		
		5,438,730	
2 管理費			
(1) 事務局委託費 (ホームページ・ニュースレター・運営管理・事務所使用料等一式)	675,000		
(2) 借損料 (総会会場費はフォーラムに計上)	0		
(3) 旅費・交通費	70,120		
(4) 通信費	25,840		
(5) 支払手数料	14,670		
(6) 消耗品費	0		
(7) 租税公課	600		
		786,230	
当期支出合計 (C)			6,224,960
当期収支差額 (A) - (C)			2,644
次期繰越収支差額 (B) - (C)			4,599

2010年度（平成22年度）事業会計財産目録（案）

2011年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要		金額	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金		
	現金手許高	98,445	
	預金		
	十六銀行美濃支店	0	
	三井住友銀行新百合ヶ丘支店	15,224	
	郵便局	168,530	
	売掛金		
	（財）環境再生保全機構	126,000	
	（協）レンダス	546,000	
	前払金	0	
	流動資産合計		954,199
2	固定資産		
	固定資産合計		0
	資産合計		954,199
II	負債の部		
1	流動負債		
	短期借入金		
	滝口泰弘	500,000	
	未払金		
	木材調達チェックブック	19,600	
	鳥取県緑の産業再生プロジェクト	395,000	
	前受金		
	2011年度分年会費	35,000	
	預り金	0	
	流動負債合計		949,600
2	固定負債		
	固定負債合計		0
	負債合計		949,600
	正味財産		4,599

2010年度（平成22年度）事業会計貸借対照表（案）

2011年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	98,445		
預金	183,754		
売掛金	672,000		
前払費用	0		
流動資産合計		954,199	
2 固定資産			
固定資産合計	0		0
資産合計			954,199
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	500,000		
未払金	414,600		
前受金	35,000		
預り金	0		
流動負債合計		949,600	
2 固定負債			
固定負債合計	0		0
負債合計			949,600
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,955	
当期正味財産増加額		2,644	
正味財産合計			4,599
負債及び正味財産合計			954,199

2010年度 収支決算 監査報告書

ウッドマイルズ研究会の2010年度の収支決算について、会計担当ならびに事務局長の立会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

会計監査のため、帳簿および領収書綴り、各事業計画書・収支予算書および各事業報告書・収支決算書ならびに預金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて会計担当ならびに事務局長に説明を求めて調査しました。

2. 監査の結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正であり、2010年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成23年6月2日

ウッドマイルズ研究会

監事 辻 充孝



監事 中村 泰子

